



貸し出し数★ベスト3

2019年度単年の冊数

1年生ベスト3			2年生ベスト3			3年生ベスト3		
🏆 B組	佐藤 舞	191冊	🏆 A組	小山 祥毅	144冊	🏆 C組	船曳 宏予	251冊
🏆 B組	中山 莉沙子	57冊	🏆 A組	岸本 礼未	78冊	🏆 C組	宗 恵礼奈	148冊
🏆 C組	後藤 龍	52冊	🏆 A組	薩田 実希	71冊	🏆 B組	松田 葉月	87冊

貸し出し本ランキング★ベスト3

1年生ベスト3	2年生ベスト3	3年生ベスト3
『中学生の成績が上がる!教科別「ノートの取り方」最強のポイント55』小沢淳/監修 メイツ出版	『その白さえ嘘だとしても』河野裕/著 新潮社	『英検準2級総合対策教本』旺文社
『わけあって絶滅しました。』丸山貴史 ダイアモンド社	『いなくなれ、群青』河野裕/著 新潮社	『君は月夜に光り輝く』佐野徹夜/著 KADOKAWA
『5秒後に意外な結末』(ミノタウロスの青い迷宮)桃戸ハル/編著 学研プラス	『かがみの孤城』辻村深月/著 ポプラ社	『小説天気の子』新海誠/著 KADOKAWA

皆さん元気に過ごしていますか?例年であれば3年生の卒業に向けて、学校全体で気ぜわしく準備を進めている3月。まさか皆さんに会えなくなると思いませんでした。

学校を出ると「ふうっ」とため息が出てしまうのはなぜでしょうか…皆さんとの関りで、たくさんのエネルギーをもらっていたことに気づきました。図書室をたくさん利用してもらえたことに、心から感謝しています。

3年生には3年間の読書記録の入った栞をプレゼントしています。統計を出していると、3年生になってから読書量が格段に増えた人が何人もいます。船曳さんもその一人です。2年生で読書量が落ち込むことを悩むより、3年生にとって図書室が身近になり、本を手に取りやすく、気持ちをリフレッシュできる場所であることを喜びたいと思います。(RAS 河井・新上)

3年間の読書量 最優秀賞 281冊

3年C組 船曳 宏予さん

私がよく本を読むようになった理由は、作文が苦手だったことと、人と接することが上手くできず悩んでいたからです。

小学校の頃は、本が大嫌いで分厚い本などは特に嫌いでした。その中で読める本は薄い本しかなかったので、宿題で出される「読書感想文」も自分の中では思うように上手くできませんでした。

この「書けない」という経験から、作文に対して苦手意識を持つようになり、その頃から本にもあまり触れることがありませんでした。

しかし、中学3年生になり入試が近づいて来た時、国語の科目でやらざるを得ない状況になってしまい、作文が書けない私からしたら、最悪の日々でした。

そんなある日、「作文が書けないなら本を読めばいい」と友人から聞き、嫌々読み始めましたが、意外と手に取った本が面白く、そこから徐々に本を好きになりました。

今では、この作文を依頼されるくらいまで本を読むようになり、当時の友人には感謝しています。

(3C・船曳宏予)

今年度の各学年の貸し出し結果

- 1・2年生は教室が遠いにも関わらず、良い結果でした。来年度は今回の数を超えていこう!
- 3年生は貸し出しもさることながら、本当に多くの来室がありました。この数字はあくまで貸し出し冊数。図書室で読んでいる分を含めるともっと数が増えるでしょう。皆さんたくさんの図書・図書室の利用をありがとうございました。(司書 前田)

